

「宇宙核戦争3.0」を防ぎ、「平和の経済」を築く

——マルクスとレノンの模索に導かれて

2025年12月23日 現代平和論 13回目

藤岡 惇

I . 藤岡 惇(あつし)の正体と主題

レーニン(毛沢東)をジョン・レノン(ガンジー)に置き換えたい。

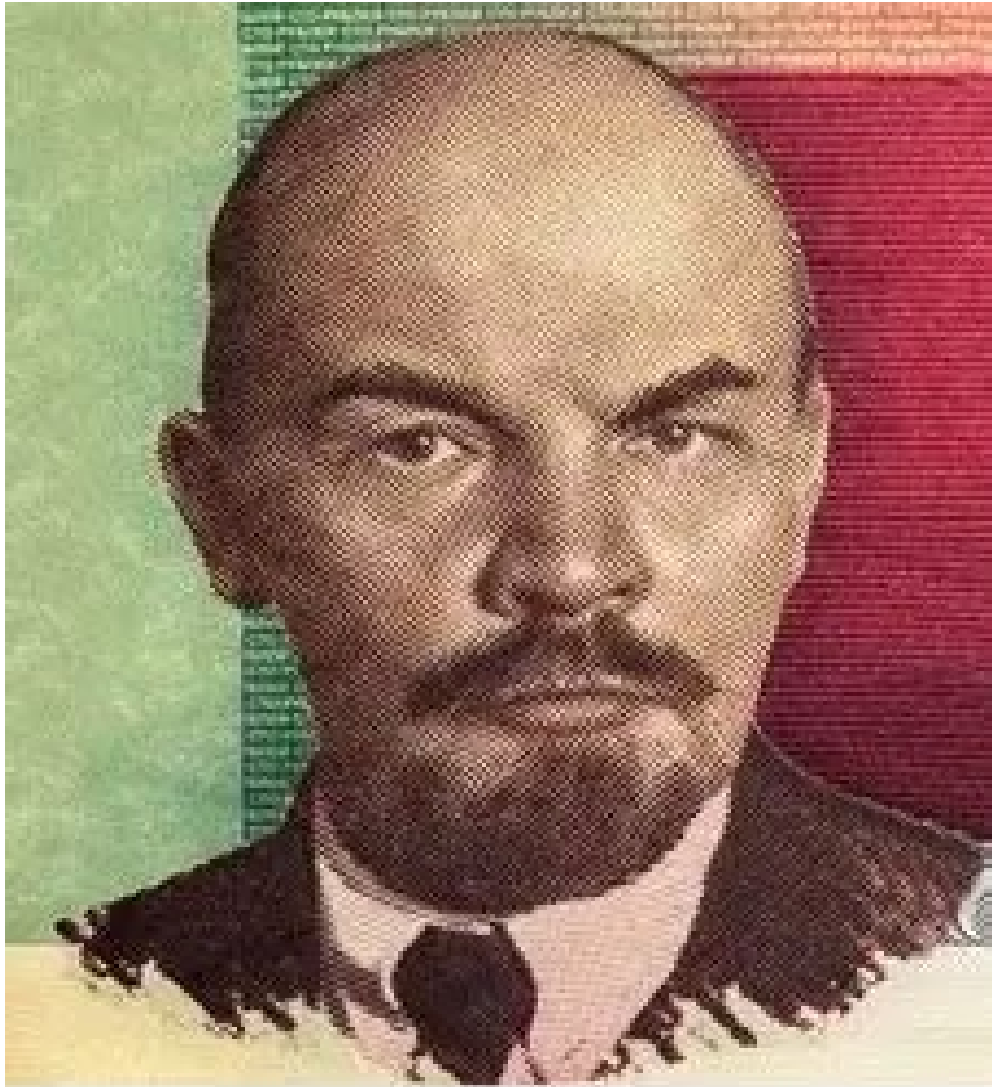
わが人生のテーマに

藤岡のホームページ

「平和なエコエコノミーへの
転換を考えるサイト」を参照

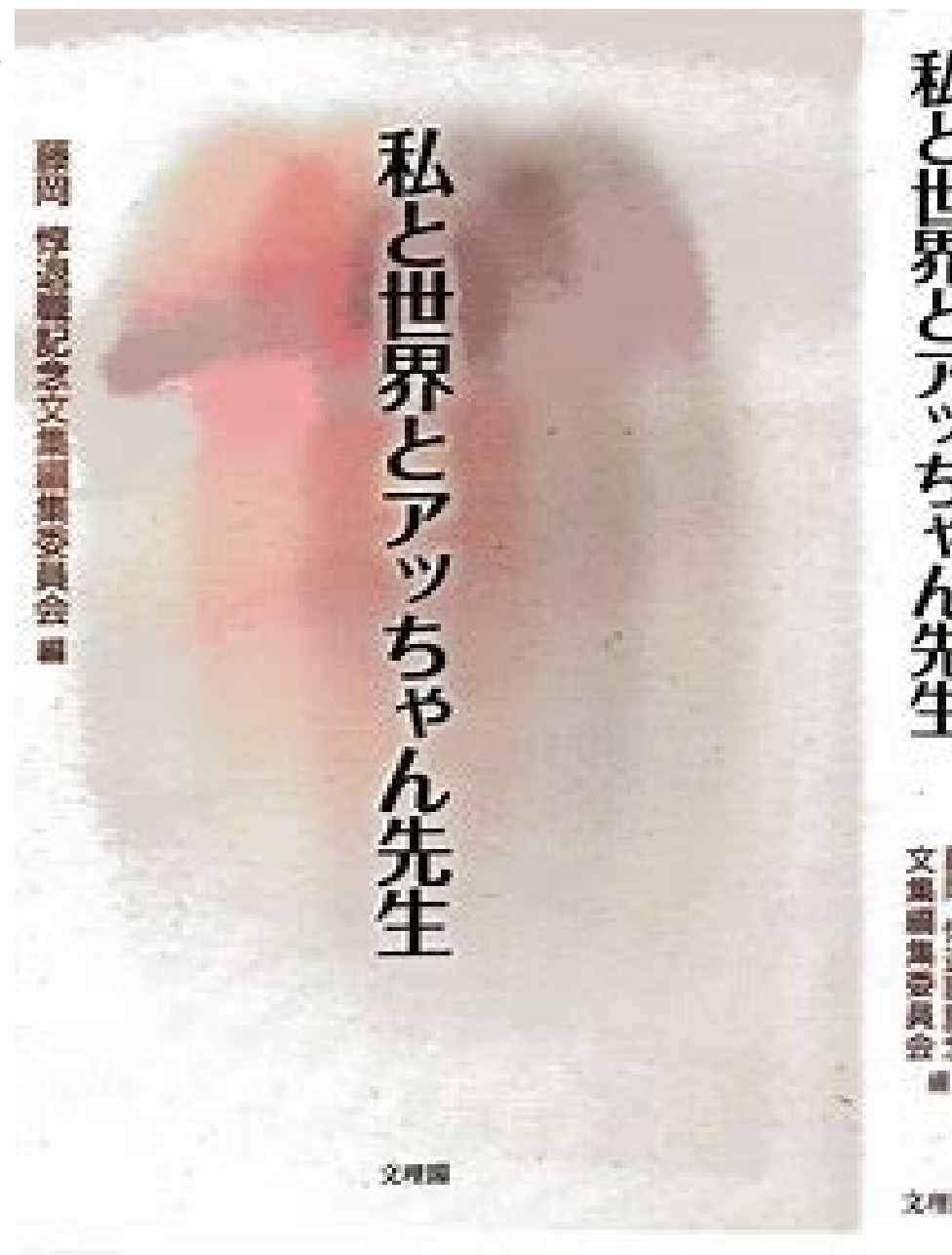
<http://eco-economy.ever.jp/wp/>





12年前の退職記念講義

2013年3月



(1) わが生い立ちと遍歴

◇**父**は、奈良の龍王山腹の炭焼きの出。小学校を終えて京都の古本屋の丁稚に。二等兵として満州の地に2年ほど駐屯。

帰国後は、古道具屋からじゅうたん商に。家に硬い本はゼロ。

◇**母方**はインテリの家系 5歳の時、栄養不足で母が結核死。継母とは複雑、神経症に

◇私は**長男**。大学に行けば頭(ず)が高くなると、進学に反対されるが、1966年に京大経済学部、1970年に大学院に逃げ込めた、継母に感謝。

青春期の悩み——「専門バカ」にならず、社会に貢献したい わたしの4つの幸運

- 1) **1966年**に陸上部に入り、駅伝選手となった。今も、「**人生下り坂のトレイルランナー**」として、山野を走る。
- 2) **1969年秋**、民主化を求める学生運動のため京都大学が麻痺。**小田実の「何でも見てやろう」**に影響され、2か月半、アジア・ロシア・欧州を放浪の旅
- 3) 1974年春、学生時代の友(小学校教員になる)と**6年間の恋**を育み、結婚を実現。**2年余り**、彼女に扶養され、生活が安定したこと
- 4) **1975年**に勤労者の当事者リサーチ運動＝**「夜間通信大学院」創設**に加わる

患者が医師、市民が主権者、庶民が「有機的知識人＝通識・天然人」に大化けする夢

「知識人は考えることは出来るが、感じることは出来ない。民衆は感じることは出来るが、考えることは出来ない。知識人はもっと感じ、民衆はもっと考えよう。『知識人と民衆との弁証法』を介して、大量の『有機的知識人』が生まれる時、壮大な歴史の変革が始まる」

アントニオ・グラムシ

◇国民のための大学、民衆のための学問

問題に直面した当事者による探究・表現

一庶民の主権者への発達＝社会進歩の原動力だった

◇原爆被災者による当事者探究、専門知識人との共同が情勢を動かした。 昨年、日本被団協 にノーベル平和賞

◇過労死家族の会と弁護団、基礎経済科学研究所との共闘で過労死防止法ができた。

今年は、民衆による工芸＝民藝運動百年。 民衆による学問(経済学)創造運動＝夜間通 信大学院創設50年

◇「庶民とともに有機的知識人に育ちあう

「基礎経済科学・夜間通信大学院」の専従スタッフとなった。

◇「エコロジカルな人間発達ゼミ」(愛称「天然人ゼミ」)のチューターと
なって、**50年。810回のゼミ**を運営し、育ちあってきた

被爆50周年の1995年、アメリカン大学を卒業した被爆2世の直野章子さんの発意で、日米の学生を結ぶ「原爆探究」の旅を開始。

1994年8月末に開設直後の立命館平和ミュージアムに藤岡を訪ねてきたアメリカン大学卒業直後の直野さん(現在は京都大学人文研教授)



向日葵(ひまわり)と アンパンマン

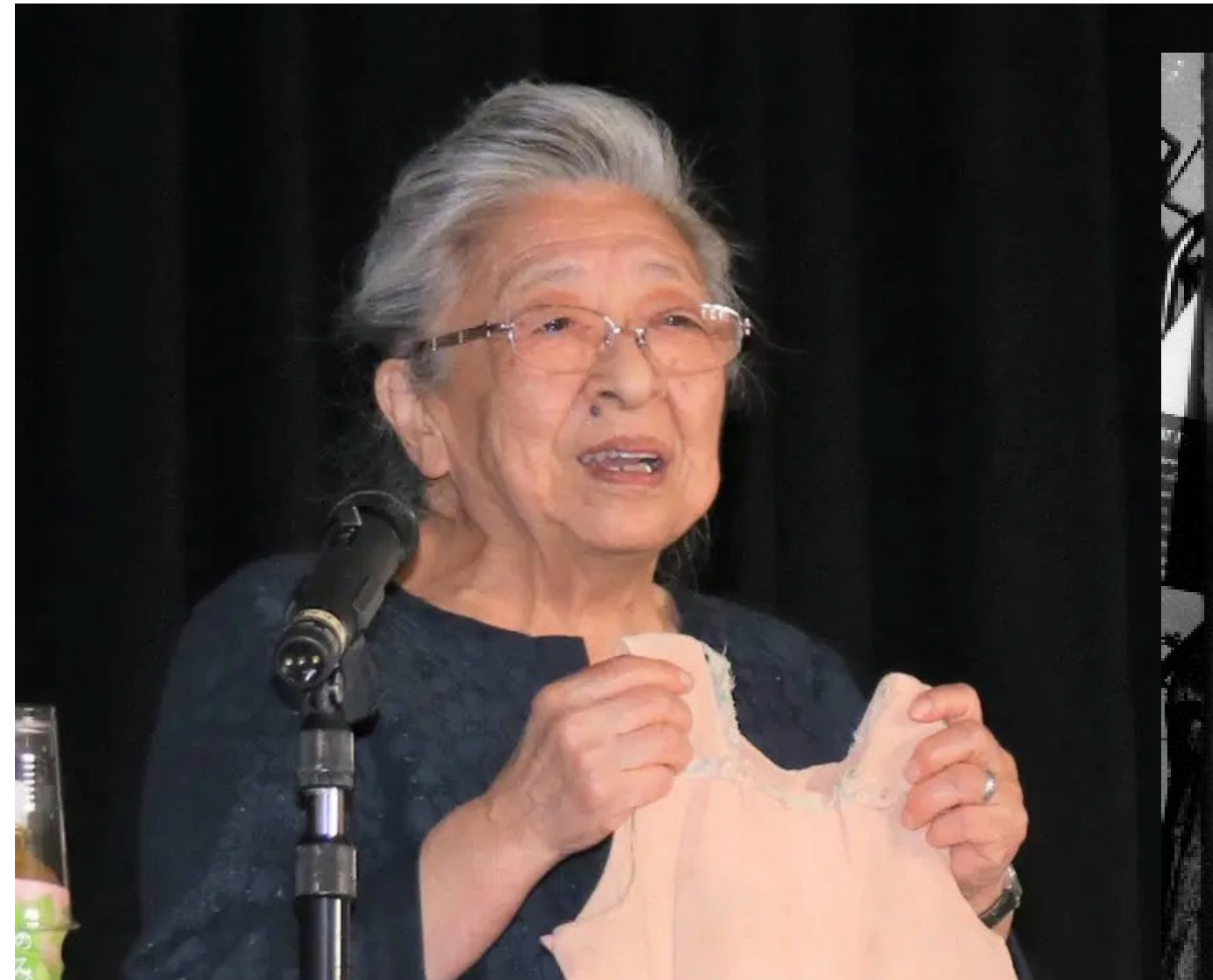
: 日米を結ぶ「原爆」探究の旅・23年目のゴールイン

- <https://eco-economy.ever.jp/wp/wp-content/uploads/2019/04/7-10-201703.pdf>

あと4人の恩人①NY下町のギャングの Peter Kuznick



Koko Tanimoto Kondo あの谷本牧師の長女の近藤 藤紘子さんとWFC=Barbala ReynolzのFenix号



バンクーバー9条の会の

Satoko Oka Norimatsu 乗松聡子さん

Peace Philosophy Centre



そして **Ann R. Markusen**

Bill Crinton の学生運動仲間



2列目右 私、ピータ、中沢啓治夫妻、近藤紘子、乗松聡子、田中利幸
さん



詳しくは、藤岡のHP 収録の

- 2017年までの23年間、870名の日米学生が参加。写真は、ピータ・カズニックと中沢啓治、近藤紘子さん **アンパンマン**

：日米を結ぶ「原爆」探究の旅・23年目のゴールイン』

それから2年後—1997年のCOP3の日本開催にあたって、**京都議定書を制定させる運動**

当時「ア・シード・ジャパン」のリーダーだった
岸本聡子さん(今は杉並区長)たちと連携
立命の平和ミュージアムを舞台に、
「世界環境若者ギャザリング」

岸本聡子さん 当時はA Seed Japan 事務局長 今は東京都杉並区長

区民と進める対話の区政 

58万人の
いのちと暮らしを支えます



SATOKO¹⁹

人が「大人」に成長する目標：命の流れとリンクした有機的知識人=通識の天然人

◇ 「大人」になること

◇世界的危機の時代には、「主権者＝統治能力を育むこと」が必須

◇とくに情報操作の横行する時代――ウクライナ戦争、宇宙核戦争

ヘイゼル・ヘンダーソンの「自己の拡張」モデル

(資料集の①)

(2) 人生観・社会観

1) 経済・社会・政治・文化・自然との関係

200万年前 直立して走り出した人類200万年史

50人を超える「社会」の出現:

天与の富の発見・採集・狩猟・ケアの時代

ケアからの「生産」の分離・疎外——**1万年前**

栽培・飼育・養殖

200人を超える社会— 政治・国家の疎外・出現 **5千年前**

貨幣の出現と経済の疎外 **3千年前**

2) 一台の自動車にたとえると

経済とはモノづくり: 資本主義下では、エンジン

社会とは ヒトづくり = 同乗者のケア・成長

政治とは、コト(ルール)づくり 車の運転者

文化とは、ヒトの生き方づくり

車をどこへ向かわせたらよいのかを探る「カーナビ装置」

自然とはイノチづくり(自己組織化)——道路

3) 平和とは：健康な社会・人間関係のこと

イノチを称えよ。

多様性を称えよ。

試行錯誤のなかの「適応・調整＝自己組織化」

の営みを称えよう

(3) 私の思想遍歴

1) マルクスをレーニンではなく、レノン(ガンジー、宮沢賢治)と架橋し、統合したい

——マルクス・レノン主義

2) 触媒になったのが、「縄文時代の天然人」への人間発達の探究と修正資本主義＝デンマークの「フォルケ・ホイスコーレ」、米国南部の「ハイランダー民衆学校」、信州上田の「自由大学」への出会い

◇唯物アニミズム一元論

◇縄文・江戸・市民主義を軸とする「天然人」への人間発達論

(4) わが健康法 —— 人生下り坂のトレイルラン

23年前の54歳の時、死亡確率9割の「心室細動」に。
妻の救命により蘇生。

8年前のゼミ旅行の時、「寝ている間、呼吸してませんよ」と教えてもらう。

睡眠時の酸素供給のシーパップ治療を始めると血圧
が下がり、心身壮快に

(5) 最近のニューズーなぜノーベル平和賞は 去年は被団協、今年はベネズエラのマリア・マ チャドに



攻?



ニュース(2) 2026年世界不平等報告書

フランス・パリ経済大学の世界不平等研究所(WIL)によると、上位10%が**富の75%と所得の53%**を占めた一方、下位50%は**富の2%と所得の8%**にとどまった。

富裕層の最上位の0.001%に当たる約6万人は、1人当たり平均10億ユーロ(約1819億円)の資産を保有。これに対し、下位50%の平均資産は6500ユーロにすぎなかった。

生産力は伸びるが、庶民の消費は低迷

景気回復の特効薬は、軍需増→既存の富(工場・機械と労働者の破壊) 一戦争

◇◇本日の主題は3つ◇◇

- 1) 2023年5月のG7ヒロシマサミットで謳われた「核抑止力の強化」とは何か。「共滅覚悟型の抑止=MAD」から「勝利追求型抑止=NUTS(敵の核戦力と司令中枢の総つぶし)への転換ではないか
- 2) ウクライナ戦争、ドルの落日、金暴騰の本質(本日1gの金が29000円、6年前は4500円)とは何か
- 3) 「宇宙核戦争3.0」を許さず、平和を築く方法は

Winning Weapon (必勝兵器)の独占こそが米国の世界支配のカギ

◇「わが米国を頭からつま先まで、この必勝兵器で武装する必要があります。」 トーマス・ファレル少将 1946年8月

◇「いまや原子兵器は思いのままに製造できます。しかも安価……。我が国の覇権を支える背骨として、原子兵器を重視していくべきです」
ブライアン・マクナマラ上院議員、1951年9月18日の演説

Ⅱ．基礎レッスン

(1)「右翼」、「左翼」って何が違うの？

①空間：**貧困**の主因を「個人」に求めるのが「右」、「社会」のしくみに求めるのが「左」

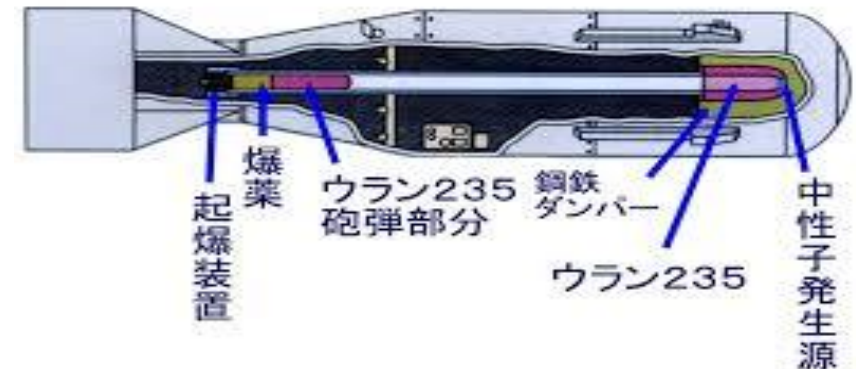
②時間：**伝統**への回帰——中世から19世紀末の「偉大国」時代への回帰に限るのが「右」、原始共産制時代への回帰まで展望するのが「左」

(2) 原爆とは何か？

第1世代の核兵器——広島型原爆
資料参照

図体だけ大きい、「おもちゃ」のような存在だった

◇核分裂物質(ウラン235)のうち、
実際に核分裂したのは **2%だけ**。



長崎型(プルトニウムの爆縮型)

長崎のばあい、**20%の核**物質が分裂した。

その秘密は32面の爆縮
レンズ。この機密が ソ連
に流れた



(3)なぜ米国は、異なる型の原爆2発を大急ぎで投下？ 一投下までは日本に降伏させるな

◇**全能の必勝兵器** を開発・独占し、

戦後の世界に君臨するには、人体実験が不可欠だった

私の同僚のピータ・カズニックの主張

大戦末期のトルーマン政権の転換

人体実験が終わるまでは、降伏を許さない。実験後は、服従を天皇が誓うならば、天皇制の存置もありうる

◇ 陸軍長官のヘンリー・スティムソンも、陸軍輸送船に乗って、ポツダムにやってきた。1945年7月24日の朝に大統領と会ったスティムソンは、『**天皇制存置の保証**が重要であり、その件を正式の警告(ポツダム宣言)に挿入』(してほしいと要請した) 『トルーマンから.....それは不可能だといわれ』(た。そこで) 『私は.....口頭でもよいから日本にその保証を与えるよう、慎重に考慮して欲しいと述べた。大統領はそのことは心に留めておき、処置を取ろうと言った』

◇「我々は、何回も無条件降伏を勧告してきた。条件を付けるとすれば、日本に付させるのではなく、アメリカ側が付けるのが筋だ」 ジェームズ・バーンズ 国務長官、1945年8月11日

◇「天皇の問題というのは、これから彼がどのように振る舞うかによって決まる。もし天皇が進み出て和平の動きを起こすならば、アメリカ国民は天皇と軍閥とは違うと思うだろう。……
もっとも安全な方法は、リスクを冒すことなのだ」

国際決済銀行のスウェーデン人顧問のペール・ヤコブソンの質問
への アレン・ダレスの回答。1945年7月14—15日

(4) 第2世代は「水爆」

— 無限の爆発力、図体の大きさ



(5) 第3世代は、宇宙に運べる軽量・小型の「核弾頭」 水爆組み込みの強化(ブースト)型原爆 核融合作用で100%の核分裂を実現し、小型化を達成



W80-4 Nuclear Warhead

COST: \$8.4 billion

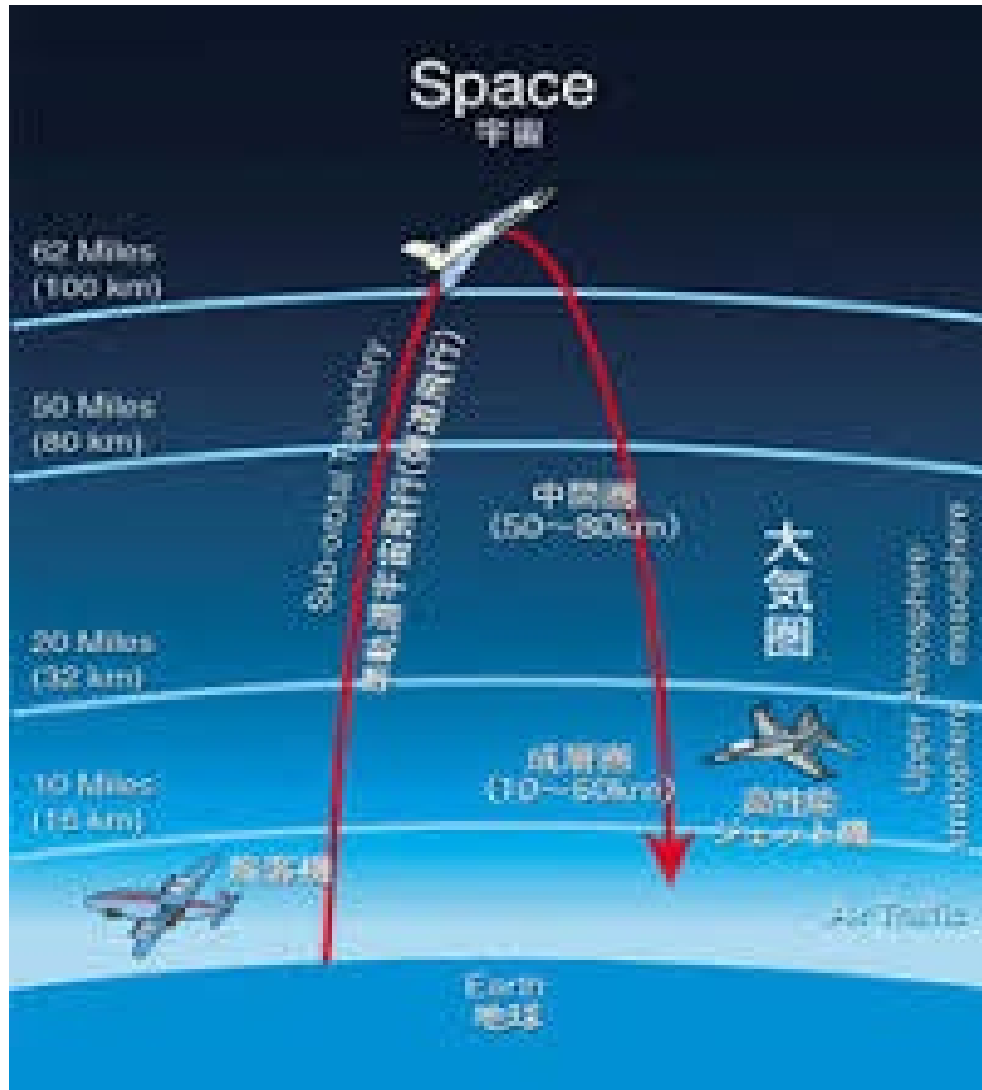
- LRSO cruise missile will require a new nuclear warhead
- NNSA is developing W80-4 warhead to replace the W80 nuclear warheads that currently arm U.S. cruise missiles

北朝鮮が2017年9月3日に公開した映像

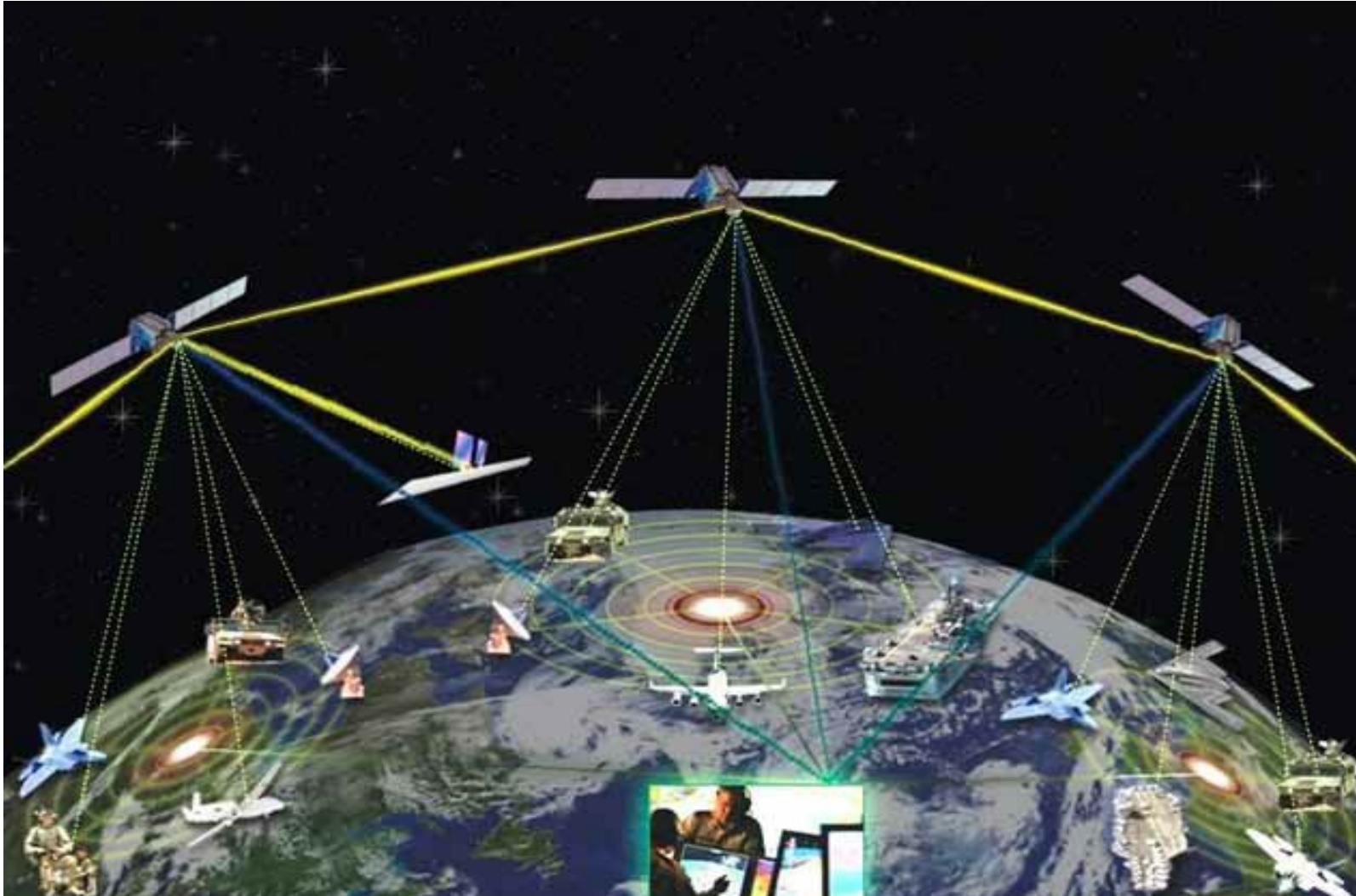
典型的な第3世代 (5F)



(6) 1958年に「宇宙の時代」が始まった



1990年代以降は「宇宙ベースのネットワーク 中心型戦争」



宇宙の軍事利用の強みと弱み

◇強み——制空権から制(宇)宙権を握る**王様**

◇宇宙飛翔体の弱み

エネルギー源の貧弱な「**裸の王様**」

①攻撃型兵器の未配備

②核エネルギー源(原子炉)の未配備

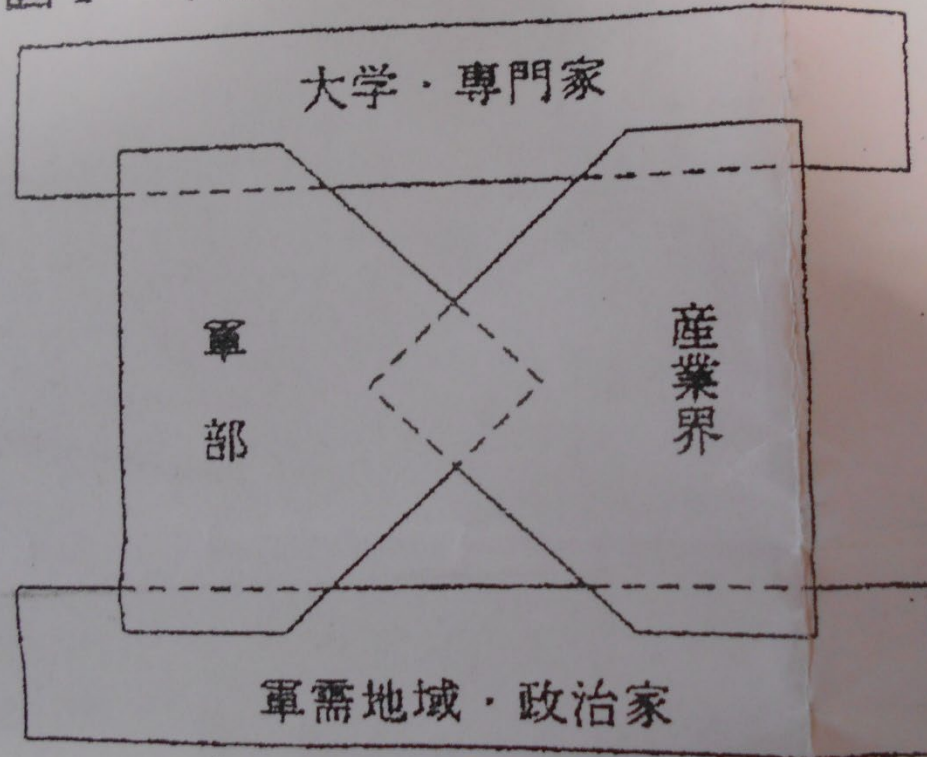
International Network against Weapon and Nuclear Power in Space の名称の慧眼

(7) 「核・軍産複合体」とは何か 資料②

科学+高賃金の安定雇用源

④

図1 軍産複合体—4つの構成要素



なぜコストが暴騰するのか

- 核戦争は特別な世界、民需に転換しがたい。
- 勝利型核抑止の実現は至難。開発・製造コストはいくらでも吊り上げ可能
- 莫大な資源を呑み込むが、民需経済への還元は乏しい —— 冷戦期の米ソの経済荒廃の主因。
- 「核安全保障国家」米国が、従属世界に「宇宙核戦争勝利保険料」として、GDPの3-5%を上納させると、米国経済復興の原動力になる

(8)まとめると、「核の時代」とは？

①破壊の質—6回殺されるという特別の残酷さ

: 熱線、放射線、爆風、打撲、火炎、そして「記憶」の死

②破壊の量—水爆とともに、数百発の核交戦でほぼ「文明」が破壊され、おそらく人類と生命系の破滅に行きつくだろう

③宇宙核戦争—宇宙のエネルギー源の99.9%は核。宇宙の毎日とは核戦争下や原子炉内の世界に近い。月や火星で出産・保育は至難。

オゾン層で守られ、生物・化学エネルギーに富む地球がいかに貴重なのか

冷戦期の軍拡がなぜ米ソの経済を荒廃させたのか

Ⅲ. 宇宙から電磁兵器を使うと、核戦争に勝てる(エリートは生き残れる)という「希望」

—MADの打破、NUTSをめざした3度の試み

MADかNUTSか

平和学会創設者の関寛治さん(立命・国際関係学部)から学んだこと

MAD Mutual Assured Destruction

人類の共滅覚悟 (Counter Value) 型の核抑止

NUTS Nuclear Utilization Target Selection

核の標的を敵の核戦力の総つぶしに充てると、敵の大都市部を破壊することなく、核戦争に完勝できる **勝利 (エリート生き残り) 型 (Counter Force) 核抑止**

関 寛治

◇ファンジャンヨブ(黄長)との関係

朝鮮・ロシア・中国の国境の豆満江開発プロジェクト

1997年2月2日(日)夕刻 京都国際ホテルで、関さん・黄 書記と
会見。9日後の2月11日に離日。翌12日、北京の地で韓国大使館に
政治亡命

失意の関さん、12月15日に71歳にて死去

宇宙核戦争1.0 1958—1963

宇宙核戦争2.0 1982—1988

宇宙核戦争3.0 2017～

この3回が人類が核戦争の開戦にもっとも近づいた時

資料④ 「核の終末時計」の残り時間の推移図

2026年1月「終末時計」、最短の85秒に

米国の物理学者などでつくる米科学誌の「原子力科学者会報」が毎年発表する「世界滅亡」までの時を示す「終末時計」が1月27日に公表された。残り時間は、去年は、過去最短の89秒。これを今回はさらに4秒、進めて、85秒とし、公表を始めた1947年以降で最短となった。

・・・同誌は、その理由の一つに、米中ロ3か国が宇宙空間を含めて軍拡競争を加速させていることをあげた。

『朝日新聞』2026年1月28日夕刊

(1) 宇宙核戦争1.0 (1958-1963年)

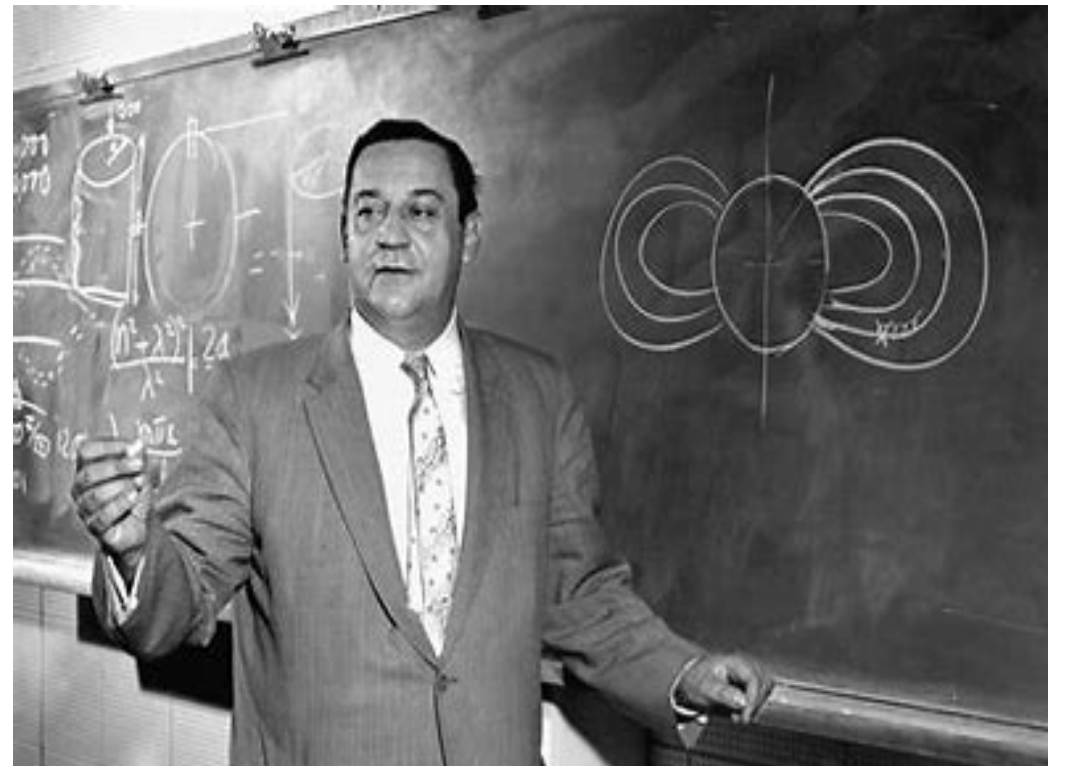
水爆の開発後、宇宙ミサイルや宇宙衛星をソ連が先に開発するという事態が**1957年に発生 = スプートニックショック**。

宇宙衛星から核ミサイルを撃ち込まれたら、ソ連が一方勝ちするかもしれない。**勝利型核抑止への米国の自信が揺らいだ。**

宇宙で核実験を行おう

宇宙空間で核爆発を起こせば、大量の荷電粒子が発生し、地磁気的作用を受けて、「強烈な放射線帯」が形成され、ソ連の人工衛星・ミサイルは機能停止に陥るのではないかと

宇宙核爆発によって「放射能の防壁」を築けると核戦争に勝利できると
Nicholas Christofilos は説いた。



地上から100キロ～1000キロの宇宙低層で
核爆発を起こすと、どうなるか



Operation Argus 1958年

米海軍の8隻の艦艇が、1958年8月－9月に 南アフリカ南端の南西海域に集結し、高度200・240・540キロの宇宙空間で1.7キロトンの3度の核爆発実験を行った。

その他、1958年に3度、1962年に5度の宇宙核実験を行った。

その結果、短期間、放射能帯は形成されるが、敵の宇宙飛翔体の麻痺・撃墜に至らぬことが判明。

他方、電磁パルス(EMP)効果は巨大

electromagnetic pulse

地表の電気回路・通信に破壊的な作用を及ぼすことが判明

ソ連側も、1961年10月－11月の7回の宇宙核実験で、同様の結果を得た

電磁パルスによる地上の電力網の麻痺問題のその後

◇日本ではほとんど調査・広報されず

人は死なず、建物もそのまま。しかし「核の闇」が続くという事態・・・

読売新聞の永田和男さんなど、ごくわずかな情報しかない。

日本での情報管理の異常さ

「勝てない」かもーMAD(共滅覚悟)派 の出現

この事態とキューバの核危機を受けて、ハト派＝MAD派が支配するケネディ・マクナマラ時代が現れた。

敵の核戦力の総つぶしは放棄し、核の先制不使用で核軍縮をはかろうとするハト派の時代が10年間続く。1972年のABM条約がその指標。

MAD派に対する「勝利型核抑止」派の反攻

—先制攻撃でNUTSを実行すれば、勝てる

先制攻撃の対象を、大都市の住民一般ではなく、敵の核戦力（宇宙・情報インフラ・司令中枢）に限定し、精密攻撃をすれば、非核兵力を多用しても、敵の核武装を解除し、核戦争に勝利できる。

このNUTSの戦略思想が、宇宙核戦争2.0を導く理念となった。

(2) 宇宙核戦争2.0 1982年—88年

ベトナム戦争に米国は敗北、余勢を駆ってソ連は、1979年12月、通常兵力をもちいてアフガン侵攻を開始

◇1982年に大統領となったレーガンは、83年3月に「戦略防衛構想」(SDI)を発表。宇宙核戦争に勝利する態勢を築き、ソ連の攻勢を阻止すると決断した。

多数の宇宙衛星に天空を巡回させ、衛星搭載のレーザー砲を敵の核ミサイルに向けて発射すれば、敵の核ミサイルを全て撃墜でき、核戦争に勝利できるというアイデア

こうして「勝利追求型核抑止」に向けた2度目の挑戦が再開された。

宇宙衛星から敵の核ミサイルの総つぶしの困難さ——当時の技術的限界、コストの暴騰、反核運動の高揚

◇レーザー砲電源用原子炉(小型核爆発装置)の衛星搭載の困難

恋人に促された技術者 Peter L.Hagelstein が “Project Excalibur “の内情を暴露

詳細はWilliam J. Broad, Star Warriors, 1985

(ウイリアム・ブロード(江畑謙介 訳)『SDIゲーム:スター・ウォーズの若き創造主たち』1986年、光文社、157ページ)

Protect and Survival は不可能、Protest and Survival しか活路はない！

- 反核運動が高揚
- 藤岡が核問題研究を始めたのはこの時期

ソ連の崩壊のため、SDIをめぐる論争は凍結されたが、今も米軍部の中枢は、NUTS派が支配

核軍拡競争から撤退するという決断をソ連のゴルバチョフが行い、1985年11月21日ジュネーブでの米ソ首脳会談において、「核戦争に勝者はなく、核戦争は戦ってはならぬ」という「MAD派風の合意」に達した。

しかし米軍部の多数は、「勝利型核抑止」=NUTSを堅持したまま。他方旧ソ連では、ソ連の解体、NATOの東方拡大に結果したことから、ゴルバチョフ人気は失墜。プーチンの権力掌握をもたらした。

(3) 論争凍結の26年間

軍事グローバリスト＝ネオコンの企画した反テロ地球戦争が失敗し、経済疲弊を招く(1991－2017年)

1990年代に入ると、米国の核戦力の大半を通常戦争仕様に転換し、イラク・アフガンなど非核国の反米勢力の討伐に転用。軍民分離の壁が下がり、両用技術の余地が広がった。

◇**2001年以降は**、中東・中央アジアのペトロ(石油・天然ガス)資源制覇のため、米国は戦争をしかけた。

◇**21年、米軍はアフガンから敗退**。20年間に7兆ドルの巨費を投じたにもかかわらず、中東の掌握に失敗。他方、中国は躍進し、ロシア・北朝鮮・イランも復調してきた。

核戦力と経済力の現状

◇世界の核弾頭数

資料集⑤

◇米国の貿易赤字の激増

⑥

◇ドル覇権の落日

——金・資源を軸にした新たな国際通貨制度に向かうか

(4) 3度目の挑戦

——宇宙核戦争3.0の開始(2017年——)

- 非米勢力の前進に対抗して「核・安全保障国家」米国の逆襲が始まった。2017年12月、第1期トランプ政権の安全保障政策「国家安全保障戦略(NSS)」が公表。これは**軍事グローバリスト=ネオコン勢力**に入れ知恵されたもの。
- これまでは、イラン・北朝鮮の「ならず者国家」と国際テロ組織が主敵。今後は中国・ロシア・イランが主敵となった。とくに中国については、米国中心の国際秩序に対する「唯一最大の挑戦者」として位置付け、宇宙核戦争を辞さぬ覚悟で封じ込め、衰弱させる戦略が示された。

勝利追求型核抑止派に再び主導権

——バイデン政権下の予兆

◇証拠① 核兵器部門の数万人の米軍人が学ぶガイドブック教本『大
国間競争の時代の核抑止』

◇証拠② 米国議会の超党派委員会の最終報告書 “America’s
Strategic Posture” Oct.2023 2027年—2035年の間に構築すべき米
国の戦力目標を策定

IV. ウクライナ戦争とNUTS派の中枢 ＝ネオコン

—「米国の戦略戦争」か、
「ロシアの侵略戦争」か



(1) ロシアの通説=安齋育郎さんの説

◇2009年のオバマ政権以来、ジョー・バイデン副大統領と
ヴィクトリア・ヌーランド国務次官補を中心にウクライナに
NATO加盟をけしかけ、2014年に50億ドルの巨費を投じて
ユーロ・マイダン・クーデターを起こしてウクライナに親米傀儡
政権をつくった。この親米傀儡政権がアゾフ大隊などのネオ
ナチ集団を国軍に編入してウクライナの東部ドンバス地方の
ロシア語話者に対する民族浄化まがいの軍事弾圧を加えた
こと」に主因があると。

◇「武器供与を通じて米国の軍需産業を肥え太らせ、ロシアを疲弊させる。NATOとその周辺諸国を対ロ経済制裁に巻き込んで、ロシアのエネルギー資源に依存しているヨーロッパ諸国に困難をもたらし、米国系エネルギーを買わせ、米国の一人勝ち状態にする——これが米国の戦略だ」。

◇ウクライナにおける軍事衝突が、この地の資源と権益を獲得することをめざす**米国とロシアとの代理戦争**だが、主たる責任は**米国＝とくにネオコンに取り込まれたバイデン政権**にある、と。

(2) 安齋説の積極点が3つ

① 冷戦終結の際の公約違反

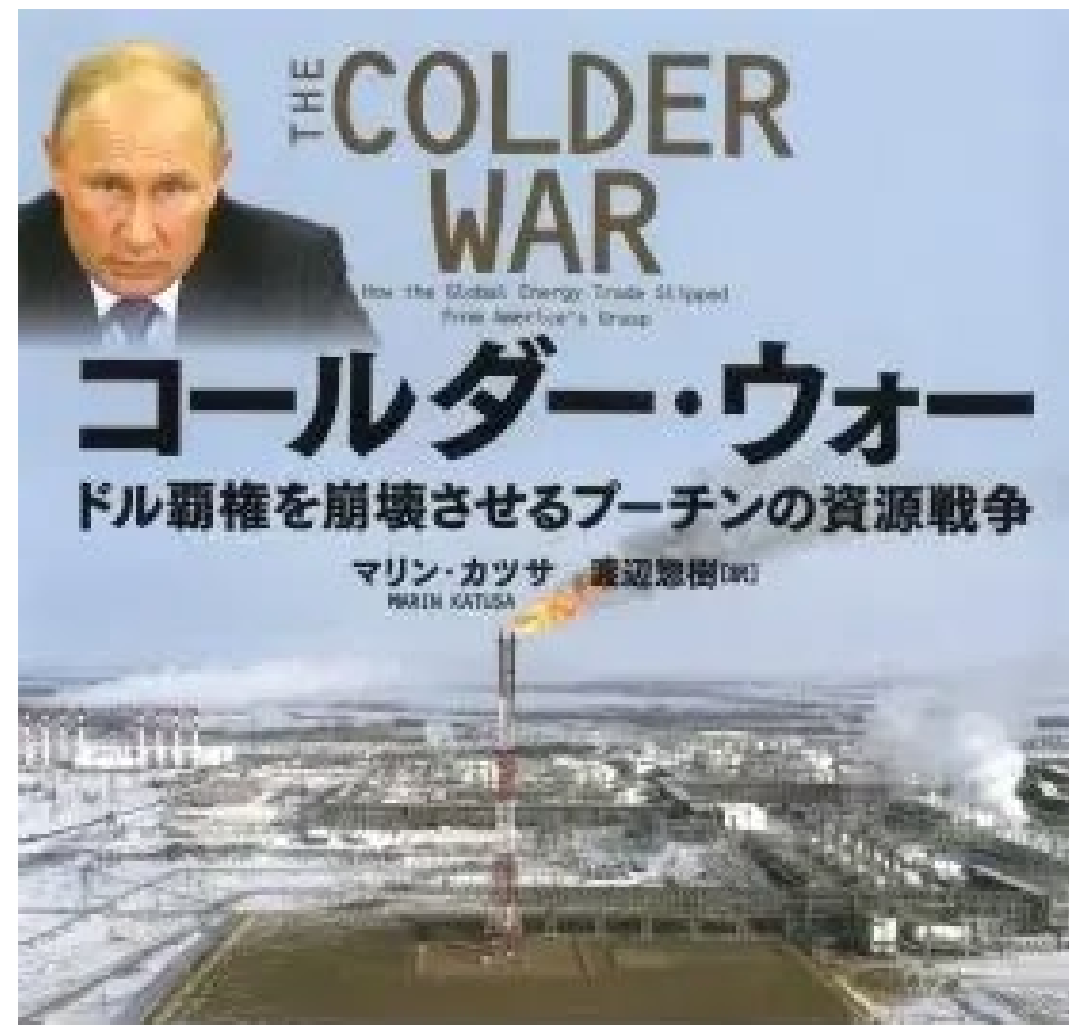
◇米国のグローバリストに騙され、東側のかつての盟主が、「発展途上国」並の「三流国に落とされたという恨み

実際、ロシア人の平均寿命はソ連解体後の10年間に10年も低下した

この惨状が、ゴルバチョフ・米英への反感を生んだ

◇他方、ロシアが、「**途上国＝サウスの一員**」に格下げされてしまった結果、グローバルサウス運動のリーダー連合＝**BRICSの旗手に返り咲く** という副産物も

『コールドダー・ウォー
ードル覇権を崩壊さ
せるプーチンの資源
戦争』 草思社文庫



アメリカの覇権を切り崩し
終焉をもたらす
プーチンの恐るべき闘いは始まっている。
ペトロドルを標的としたプーチンの深謀遠慮が、
いま、米国支配の世界システムを崩壊させつつある!



②2022年2月23日の侵攻の前史にも目配りーマイデン・クーデターがあった。

- 2014年に巨費を投じて、親口派政権の転覆クーデター
 - ◇スラブ(語源は奴隷)系民族を劣等視する ウクライナ内の反スラブ・親欧米系グループが担い手
 - ◇ネオコンのウクライナ駐在大使のヴィクトリア・ヌーランドや バイデン大統領の次男のハンター・バイデンが活躍



東欧・ウクライナ利権に食い込んだハンター・バイデン



ロシアの南下阻止のため、日本を扇動・支援し、日露戦争を開戦させた、1914年の英・米戦略と似ている

◇ 英国・米国は、日本に武器と経済援助だけ与え、日本軍を戦わせたものの、ポーツマス講和会議では、ロシアからは戦利品（賠償金など）を得られなかった日本人たち

日比谷焼き討ち事件を起こして、米・英・ロシアの共謀に抗議したが、無視されてしまった

「1963年のキューバ核危機」の「逆バージョン」 なのか？

◇米国に攻撃されぬよう、米首都ワシントンの近くに核ミサイルを持ち込んで、キューバを防衛しようとしたソ連。これに憤激して、核ミサイルを撤去しないとキューバに核ミサイルを撃ち込むと威嚇した**1963年の米国**

◇ロシアに攻撃されぬよう、モスクワから至近のウクライナを核軍事同盟のNATOに加盟させ、核ミサイルを配備しようとした米国。これに憤激して、軍事侵攻に踏み切った**2022年のロシア**

③軍事同盟と核抑止に傾いた「**冷戦リベラル**」に抗して、軍事同盟は世界大戦の根源だから禁止すべしとする国連＝「**ニューディールリベラル**」の初心を大切にせよと主張

(3) 安齋説には弱点も

- ◇2022年2月23日の衆人環視のもとでも、ロシア軍のウクライナ侵攻—**国連憲章・国際法に違反した「犯罪」**
- ◇2001年9月11日アルカイダ集団による同時テロとの比較
オサマ・ビン・ラディンとプーチンを比較すると・・・
- ◇「兵器と核エネルギーの宇宙配備に反対する地球ネットワーク」の場で、「**戦争は答えではない**」として、ロシアの侵攻に抗議するよう、私は提案したが・・・否決された。

ウクライナ戦争の当事者3人のなかで責任が重いのは誰か

- ウクライナで数百万人が殺された責任を負うのは、プーチン、ネオコンと連携したバイデン、ゼレンスキーの3人に責任があると、2025年4月14日にトランプは述べた。
- 2日後にトランプは、さらに踏み込んだ。「ロシアとウクライナの戦争は、**バイデンの戦争**であり、私(トランプ)は、これと無縁だった。第1期のトランプ政権は、このような戦争を許さないという方針だった」と

V. 世界を動かす3大勢力の構図

——トランプ2.0が照らし出した世界

1) トップダウン型グローバリスト

ニューディールリベラル派を制圧した「冷戦リベラル派」が原型。その2つの分派

① 一極覇権を軍事的に死守する派——ネオコン・MI6

彼らのなかで、知性に富み、ユダヤ人左翼を共通の出自とし、現代世界を抜本的に改造しようとするのが、ネオコンだ。スターリン型「共産主義」に幻滅した東欧系トロツキストが第2次大戦後に「ネオコン」に「進化」。

② 経済・市場派——G20 を促進した世界経済の拡張を志向

キッシンジャー、ジョージ・ソロス、世界経済フォーラム

2)「偉大国への復興」型ナショナリスト

◇トランプは、19世紀末の偉大な「米国の黄金時代」への復興を唱える「白人ナショナリスト」(ユダヤ・シオニストと親和的)。モデルは**マッキンリー大統領**。

◇ロシアのプーチン大統領: 西欧に抑圧されたスラブ民族復興型ナショナリスト。モデルは**ピョートル大帝**。グローバルサウス=有色人ナショナリズム包摂の可能性

◇イラン・サウジ、インド・中国、東欧系のオルバンを含んだ共通項は、栄光の男性英雄時代の栄光を取り戻そう。国家・権力なき原始共産制への高次復帰という視野がない。

3) 民主的で水平的なインターナショナリスト

◇軍事同盟と冷戦に抗して、ニューディールの理想を守ろうとした「非覇権・非同盟」リベラル…

◇「庶民の世紀」の創造を唱えた **ヘンリー・ウオーレス型のニューディールリベラルの遺産**を継承する

◇グローバルサウス内の民主派：非同盟中立志向の中小国と市民社会派の連携体。

排除せず議論を尽くし、合意点で行動する**アセアン10カ国がモデル**
資料⑦

「魚のスイミー」に学ぶ

目の役割を果たす「小さく賢いスイミー」



グローバルサウスとイーストの連携の動き ——西洋の孤立と敗北

産油・資源国（イラン・サウジ・アラブ首長国、エジプト、メキシコ）、インドネシア・マレーシア・タイなどアセアン諸国多数も2023年秋にBRICSに加盟。すでにグローバルノース連合（NATO G7）の資源・金、生産力保有シェアを上回る。

NATO型核軍事同盟、ドル覇権への積年の「恨みと怒り」を背景に、インフレに耐える価値保存手段として、「金—資源本位制」への復帰の動きを主導。ウクライナ戦争の3年半の間に、**ドルにたいする金の価格は2.3倍に暴騰した。**

VI. 米グローバルリストは、日本を「中国退治の前線国」にできるのか

落日の帝国——宇宙覇権競争で劣勢に陥った米国

敵の核戦力の中枢は**天空の「裸の王様」宇宙衛星編隊**に移る

1) **「核の槍」に生じた技術革命**——「HSV」(極超音速巡航飛行体)、
「HGV」(極超音速滑空飛行体)、衛星を兼ねた宇宙機(SV)では、中口側が先行する事態に。 資料⑧ ⑨

2) ロシアも**「核推進巡航ミサイルのプレヴェスニク」**開発を公言(核推進のターボジェットで時速850-1300キロ、最低高度は25—100メートルで、数カ月間の連続飛行が可能)

核推進型の超高速巡航ミサイルー ブレベスニクをロシアは配備済み

2019年8月8日に極北の白海の開発現場で、
核事故。大量の放射線を浴びて、7名が死亡。



3) 現下のドローン戦争は実際には宇宙戦争・・・最大のインフラは、無防備な状態で宇宙を飛ぶ軍事衛星編隊。マヒさせると、ドローン戦争もサイバー戦争も簡単にマヒしてしまう **資料⑨**

4) 誰も死なないし、地上の破壊もない「もっとも平和な戦争」——上空での核爆発による電磁パルス攻撃

アーガス作戦とは異なり、宇宙では数百メガトンの核爆発が可能。

その巨大なEMP作用、とはいえ、「直ちには人は死なない」被害が見えにくいグレーな核戦争に

ウクライナのキーウ上空で・・・北朝鮮でも **資料 ⑩**

5) 核搭載の潜水艇を用いた「核爆発」による巨大津波で原発をマヒさせる

次なる核戦争は、「人は誰も傷つかない」敵の宇宙アセットの麻痺・破壊から始まる可能性が大。宇宙空間での核起動の光線兵器搭載の宇宙飛翔体の開発・配備——ロシア・中国も負けていない

陸上イージスの弱点、敵基地攻撃能力の保有の意味

◇秋田市近郊への陸上イージス基地の設置の挫折

北朝鮮の核ミサイルがハワイを襲う際の間接点が秋田市勝利型核抑止(NUTS)の東アジアの前線基地を日本が担うための措置だったが……

◇敵の核ミサイルを破壊するには、結局、敵の核ミサイルを中国・北朝鮮の基地内に貯蔵の段階、あるいはゆっくりと上昇しているブースト段階でつぶす以外にないと判明
「敵」の領土内ないし領空内の上昇段階で、つぶさないと、宇宙核戦争3.0に勝利できない……

「宇宙核戦争3.0」の圧勝には、何が必要か

1)核の槍＝「再突入体」自体の革命――極超音速自在飛翔体(HGV)から「衛星ミサイル」へ。さらには長期間、宇宙を悠遊する「宇宙飛翔体」(電源として小型の原子炉ないし原子電池搭載)の開発・配備に動いている。目的は、敵の核基地(核戦力)つぶし

中国は、なお「核の先制不使用」を約束しているが、ロシア・北は、核兵器を先制使用して米国と対抗する、新しい核使用方針を明らかにした。しかも敵の核戦力の所在地は隠され、非核戦力と混りあって存在している。

米宇宙軍の情報力をもってしても、敵の核基地と非核基地を区別し、非核ミサイル基地だけを選らんで、攻撃することは不可能。

トランプ2.0でもNUTS＝勝利(強者生き残り) 型核抑止の態勢づくりの動き、続く

(1) 敵の核戦力の先制的な総つぶしの実証実験

2025年のイランの核施設の先制攻撃(ミッドナイト・ハンマー作戦)

敵基地(地下深くに隠してきたプルトニウム製造拠点)をつぶす

(2) 敵の司令中枢を先制攻撃で首切りする

2026年1月のベネズエラ・カラカスへの電磁波攻撃、

マドゥーロ大統領夫妻の捕捉・米国への連行

そして26年2月28日の米国・イスラエル軍の共同の

「壮絶な怒り作戦」の発動

ハメネイ師らの殺害

(3) 米本土の強者だけに生き残りのドームを提供する——ゴールデン・ドーム計画

宇宙核戦争で勝てるかどうかを探る「3度目の人体実験場」に日本がなる可能性

米国インド太平洋司令部「統合対空・ミサイル防衛」2028年の一環として、日本の自衛隊戦力は、敵(基)地内の「敵戦力X」を攻撃する任務を果たす任務に就く。

◇日本に命ぜられるのは先制攻撃なのか、第2撃攻撃なのか。Xが非核戦力か、核戦力かを判定する能力も権限も自衛隊にはない。そのため、意図に反した「偶発的核戦争」の可能性が増す。

25年12月22日、H3ロケット打ち上げ失敗

「準天頂衛星みちびき5号機」の任務とは何か

「8」の字を描きつつ、東アジア上空だけを巡回する

最大の使命は、東アジア・台湾上空のGPSのしくみを確保し、東アジアにおける「勝利追求型核抑止」のインフラに

宇宙核戦争3.0に完勝することは本当に可能なのか、必要な費用＝軍事費はいくらか

日本海岸に林立する、あの無防備な日本の原発群、ロシアの核推進宇宙飛翔体・ブレヴェスニク(海燕)、マッハ10以上で飛ぶオレシニク核ミサイル、衛星軌道を自在に飛ぶ中国の核ミサイル。

「槍」の開発は「盾」構築よりもはるかに安価で効果的だ。どれだけ巨額の費用を「宇宙の穴」に投じても、核戦争に勝利することは至難の技であり、「福祉・環境国家」の建設は無理となっていくだろう。

宇宙核戦争勝利の鍵——「ゴールデン・ドーム」の構築は可能か、いくらかかる？

宇宙核戦争3.0の末路—莫大な資源を使っても 勝利できず、共滅に終わるのかという疑問

ことし10月にNetflixで公開
された映画

“**A House of Dynamite**”

Kathryn Biglow監督 74歳



A House of Dynamite

正体不明の核ミサイルが
米国本土(シカゴ)を襲う
20分間を描く。

「ゴールデンドーム」は役
にたたず、共滅を示唆し
て終わる…



勝利追求型核抑止とは「エリート生き残り＝ノアの箱舟」計画か

――一月から火星への移住の可能性

宇宙核戦争2.0時代の教訓

エリート層だけの生き残り拠点

核シェルターの常備品――弓矢

イーロン・マスクの夢

VII. 平和を創っていくために何が必要か

1) 1950年ではなく、**1945年の進歩派リベラル**の遺産
(とくに**軍事同盟の禁止、核の廃絶**)を継ぐ

2) 「核戦争には勝者なく、共滅する可能性が高い」という点につき、MAD派と核廃絶派とが再度、合意し、核廃絶の**2段階接近**という目標に向けて連繋する。

3) 核廃絶への2段階方針

- 「核戦争には勝者はいない。共滅するゆえ核戦争を戦ってはならない」という「核のタブー」原則を世界の公理に高める。
 - ◇第一段階はMAD派の主張する最小限核抑止とし、ミサイル防衛＝敵の核戦力つぶしを禁止し、宇宙を非核・非軍事ゾーンとする。
 - ◇そのうえで、核兵器の全面禁止の第2段階に向かう。

3) 韓国では尹錫悦大統領の弾劾・罷免が実現。非米、非同盟の東アジアの方向に韓国が動く公算。とくに「独立した指揮権」を要求する韓国左派と日本の政界との違いが明らかになっていく。

北朝鮮を敵視せず、包摂していく。トランプ1.0時代のハノイでの朝鮮戦争の終結合意に戻り、朝鮮戦争を終結させる。

4) 台湾を東アジアのウクライナにさせない

アセアンの「包摂的で水平型の安全保障」のしくみ——AOIP (ASEAN Outlook on Indo-Pacific) を北東アジアに広げる。

◇日本は「台湾有事」には集団的自衛権行使≡参戦することを拒否し、韓国—日本—台湾の避戦派が連繋して、**避戦共同体**をつくる

(5) 第3の道——真の多角主義にもとづく「ディープ・ピースの世界」へ

◇トランプ・プーチン・欧州極右の白人男性優位の「偉大国復興」型ナショナリズムの道には、多くの問題点。

◇グローバルサウスの民主的強化・市民社会の強化を通じた民主的で水平的な国際主義の視点に立った政策を練り上げる。

1) 英知を絞り、進路を変える

◇20世紀のモデルとして、**スターリニスト**が示した道は、**70年間**
の実践のなかで失敗した。

◇21世紀の北極星として、**グローバリスト**が示した道も、**20年間**
の実践のなかで失敗しつつある。

◇宇宙核戦争3.0の勝利の道は、莫大な富を軍産複合体に集めるが、至難の道。

世の3%が「賢い、勇者のポピュリスト」に成長すれば、世界は変わる

2) 新しい地域世界レベルで「ミニ国連」システム をつくっていく——北極星としてのアセアン

別の胎動——ゾーラン・ マムダニ



34歳、ウガンダ出身。7歳でアメリカに移住。今年11月4日のニューヨーク市長選で勝利。50.4%の得票率で100万票以上を獲得。対抗馬のアンドリュー・クオモ氏は41.6%、共和党のカーティス・スリワ氏は7.1%。イスラム教徒として史上初

3) 新しい文化を——天動説から地動説への自然観の転換

- 宇宙・イノチの根源を「環境」とは捉えず、「環盤」と捉える「唯物アニミズム一元論」への転換。
- これを通して、「モモ」(M.エンデ)のような「高次天然人」を輩出すること。そのためには高次自然社会への創造的回帰が必要だ。「縄文・江戸・市民社会」の叡智に学んでいく。

◇造物主の正体—宇宙規模の造物運動の主体の探究

- ジェイムズ・ウェッブ宇宙望遠鏡で観測された**相互作用銀河「Arp 142」**の姿 —宇宙で抱卵している『ペンギン』のように見える。
- https://www.bing.com/images/search?view=detailV2&ccid=ZJUYY%2bKy&id=65853856669E037FCF6D96239D7437C449644B0C&thid=OIP.ZJUYY-yBYQ7nugLAID_ZAHaEc&mediaurl=https%3a%2f%2fcff2.earth.com%2fuploads%2f2024%2f07%2f15121204%2finteracting-galaxies_arp-142_space-penguin_Webb-telescope_second-anniversary_1m.jpg&exph=1500&expw=2500&q=Arp142&simid=607993690257633047&FORM=IRPRST&ck=AE70E89525E42A174FCF07877C0CAA9E&selectedIndex=1&itb=0&ajaxhist=0&ajaxserp=0

◇宇宙史における 人の担うNoblesse Oblige (貴人の使命)——人の位置と価値と責務

このような発見を人がなしたということは何を意味するか。137億年の歳月をかけて、宇宙自身が幾度とない陣痛の苦しみに耐え、腹を痛めて、ついに自らの姿を捉える眼と耳をつくりだした——まさにその眼や耳にあたる部分が、私たちを含む高等生物ではないか。宇宙自身がついに生み出した、「自己認識装置」というのが、私たちではないか。

私たち「高貴なる者の使命」……忘れてきた動植物、無告の民、非業の死を遂げた犠牲者たち魂を鎮め——宇宙形成史のメンバーとして復活＝リメンバーさせること

宇宙史における人の位置と価値と義務

—Noblesse Oblige(貴人の責務)なのか

このような発見を人がなしたということは何を意味するか。137億年の歳月をかけて、宇宙自身が幾度とない陣痛の苦しみに耐え、腹を痛めて、ついに自らの姿を捉える眼と耳をつくりだした——まさにその眼や耳にあたる部分が、私たちを含む高等生物ではないか。宇宙自身がついに生み出した、「**自己認識装置**」というのが、私たちではないか。

私たち「**貴人の責務**」とは、忘れてきた動植物、無告の民、非業の死を遂げた犠牲者たち魂を鎮め—宇宙形成史のメンバーとして復活=リメンバーさせることなのか

通識・天然人に育つ・・・

「叡智」の役割

「主よ 変えられるものを変える**勇氣**と、
変えられないものを受け入れる**優しさ＝悟り**と、
両者を識別する**叡智**を 我に与えたまえ」

ラインホールド・ニーバー

ニューディール・リベラルが冷戦リベラルに変質する時代を
生きた米国の神学者

◇わがイノチは私有財産か、信託財産か

わがイノチを私有財産ではなく、宇宙における「自由への歩み」を体現する「イノチの流れ」から託された信託財産とみなしたらどうだろうか

我がイノチをコモンに

ダニエル・デネット(山形浩生訳)『自由は進化する』(ちくま学芸文庫)

誰から、託された信託財産なのか？

◇唯物アニミズム一元論の哲学

- 山川草木国土 悉皆仏性
(原始仏教)
- 鳥たちに説教するアツシジの聖フランチェスコ
- 「イノチを称えよう、多様性を称えよう」
(サガルマタ宣言)

菜園家族(キッチンガーデン)一天然への対話と尊敬、農と食に育まれた「友愛家族」コミュニティ

健康と平和、

免疫力に秀でた腸と筋骨と「脳」の間の水平的な互惠・友愛

関係を作る

ガンジーの糸車のアシュラム、今日の編み物サークル、

1966年に米国南部アラバマGee's Bendの黒人女性たちが始めた

覚醒運動 Freedom Kiting BEE

カイラス山をめざす五体投地の巡礼



通識・天然人の魂を磨く

